

## 地球温暖化対策実施状況報告書

2019年7月31日

（報告先）  
横浜市長

住所 横浜市西区北幸2-9-14

氏名 相鉄バス株式会社  
取締役社長 菅谷雅夫

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

### 1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 （代表者の氏名）	相鉄バス株式会社 取締役社長 菅谷雅夫					
事業者の主たる 事業所の所在地	横浜市西区北幸2-9-14					
主たる事業の業種	大分類	H 運輸業、郵便業				
	中分類	43 道路旅客運送業				
該当する 事業者の要件	<input type="checkbox"/>	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者				
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第2号該当事業者				
	<input checked="" type="checkbox"/>	規則第89条第1項第3号該当事業者				
	<input type="checkbox"/>	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）				
	原油換算エネルギー使用量		kl	自動車の台数	224	台

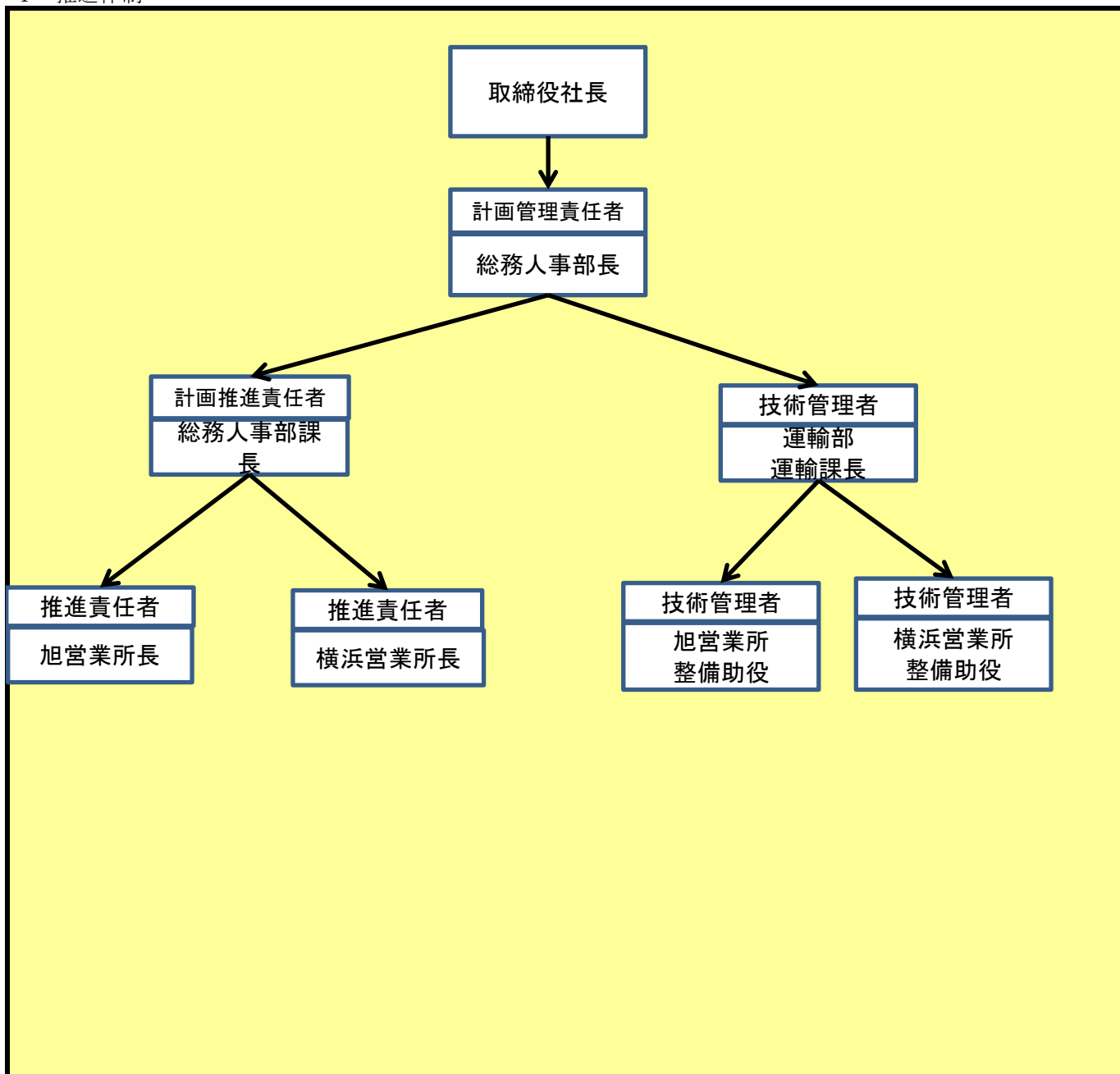
### 2 計画期間及び実施年度

計画期間	2016	年度～	2018	年度	実施年度	2018	年度
------	------	-----	------	----	------	------	----

### 3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

<p>〔基本方針〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・車両の代替時においては、燃費改善機能を搭載するとともに、地形や荷重、運転条件に基づき最適なギアを選択して燃費の改善を図る車両（AT車）に順次入れ替えを行っていく。</li> <li>・各バス停や駅ターミナルおよび交差点等において、アイドリングストップを実施するとともに、通常走行時においても省エネ運転を実施する。</li> <li>・実際の効果を視覚的に認識できるように、営業所に燃費実績（平均）を掲示しこれを毎月更新することで、運転士への温室効果ガス排出の抑制に対する動機付けを行っていく。</li> </ul>
---

4 推進体制



5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	
窓口で閲覧	閲覧場所	相鉄バス株式会社
	所在地	横浜市西区北幸2-9-14
	閲覧可能時間	10:00~12:00 / 13:00~17:00
冊子	冊子名	
	入手方法	
その他		

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 （年度）	基準排出量		t-CO <sub>2</sub>			基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後		t-CO <sub>2</sub>			目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度 （年度）	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%		削減率	
排出の抑制に係る目標の設定の考え方									
事業者全体としての目標等									
第一年度 （年度）	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /
	調整後		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%			削減率
目標等の達成状況及び説明									
第二年度 （年度）	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /
	調整後		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%			削減率
目標等の達成状況及び説明									
第三年度 （年度）	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /
	調整後		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%			削減率
目標等の達成状況及び説明									
計画期間全体の排出状況に関する説明									

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 (2015年度)	基準排出量	7,345	t-CO <sub>2</sub>			基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後	7,345	t-CO <sub>2</sub>			目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度 (2018年度)	目標排出量	7,337	t-CO <sub>2</sub>	削減率	0.1 %	削減率		%	
排出の抑制に係る目標の設定の考え方	今後もお客様サービスの向上や需要に応え、運行ダイヤの見直しや系統新設、路線延伸・再編による走行キロの増減で、CO <sub>2</sub> 排出量の増減が予測されますが、省エネ車両への代替や、エコドライブ推進体制の整備を引き続き進め、温室効果ガスの排出量を削減させたい。								
事業者全体としての目標等									
第一年度 (2016年度)	排出量	7,447	t-CO <sub>2</sub>	削減率	▲ 1.4 %	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後	7,447	t-CO <sub>2</sub>	削減率	▲ 1.4 %		削減率		%
目標等の達成状況及び説明	平成28年度は、省エネ車両への代替を行ったが、基準年度に比べ車両台数が純増、またダイヤ改定および路線拡張に伴い、走行距離が増加したため削減目標が達成できなかった。								
第二年度 (2017年度)	排出量	7,446	t-CO <sub>2</sub>	削減率	▲ 1.4 %	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後	7,446	t-CO <sub>2</sub>	削減率	▲ 1.4 %		削減率		%
目標等の達成状況及び説明	2017年度は昨年度に引き続き、省エネ車両への代替を行ったが、基準年度に比べ車両台数が純増、また全国都市緑化よこはまフェアの開催期間の路線延長や、既存路線のダイヤ改定、また企業等へのお客様の輸送を担う送迎バスの新規受託に伴い、走行距離が増加したため削減目標が達成できなかった。								
第三年度 (2018年度)	排出量	7,719	t-CO <sub>2</sub>	削減率	▲ 5.1 %	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後	7,719	t-CO <sub>2</sub>	削減率	▲ 5.1 %		削減率		%
目標等の達成状況及び説明	2018年度は昨年度に引き続き、省エネ車両への代替を行ったが、基準年度に比べ車両台数が純増、また里山ガーデンフェスタの開催期間の路線延長や、既存路線のダイヤ改定、また企業等へのお客様の輸送を担う送迎バスの新規受託に伴い、走行距離が増加したことや夏季の猛暑における熱中症対策として車内冷房継続を行うため外気温30度超でアイドリングストップ休止をしたことにより、削減目標が達成できなかった。								
計画期間全体の排出状況に関する説明	計画期間中年度は、省エネ車両への代替を行ったが、基準年度に比べ車両台数が純増、また地域イベントの開催期間の路線延長や、既存路線のダイヤ改定、また企業等へのお客様の輸送を担う送迎バスの新規受託に伴い、走行距離が増加したため削減目標が達成できなかった。								

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )
3,000k l 以上								
1,500k l 以上 3,000k l 未満								
500k l 以上 1,500k l 未満								
500k l 未満								
合計								

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	台数(台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	台数(台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	台数(台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	台数(台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )
普通貨物自動車								
小型貨物自動車								
大型バス	212	7,345	223	7,447	215	7,079	224	7,719
マイクロバス								
乗用自動車								
合計	212	7,345	223	7,447	215	7,079	224	7,719
低公害かつ低燃費な車の 導入割合(%)	3.0	%	4.9	%	6.2	%	8.2	%





細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

11 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1		年度		
2		年度		
3		年度		
4		年度		
5		年度		

12 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1					
2		年度			
3		年度			
4		年度			
5		年度			

13 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	
計画期間内に実施する対策	
第一年度実績	
第二年度実績	特になし
第三年度実績	特になし

14 実施状況等に対する自己評価

マニュアル車において、ドライブレコーダー付属のエコドライブ支援機能を利用しています。エンジン回転数警告ランプ・音が鳴動しないように注意して運転するなど、エコ運転を心がけるよう指導しています。